

令和6年度 薬剤師募集要項

1.応募資格

令和6年3月に薬学部を卒業見込みの方、
もしくは有資格者

2.提出書類

- ①自筆の履歴書(本院指定の書式。HPからダウンロード可能)
- ②大学の成績証明書
- ③大学の卒業見込証明書(有資格者は卒業証明書)
- ④健康状況申告書(本院指定の書式。HPからダウンロード可能)
- ⑤薬剤師免許証の写し(有資格者)

3.願書締め切りおよび試験日 (令和5年5月～6月予定)

詳しくは、HPをご覧くださいか、
本院人事課までお問い合わせ下さい。

4.試験内容

書類選考、適性試験、小論文、
専門試験、面接試験により選考を行います。

■病院見学会

相談に応じて随時受け付けております。

【連絡先】

人事課

TEL:0776-36-3630(代)

E-mail:jinji@fukui-med.jrc.or.jp

HP:https://www.fukui-med.jrc.or.jp/



◆勤務時間

8:30～17:00／週休2日制(週あたり実働38時間45分)
※宿・日直あり

◆休暇

年次有給休暇、創立記念日(5月1日)、産前・産後、育児、介護休暇、
結婚・忌引き、永年勤続休暇などの特別休暇

◆給与

基本給232,500円(6年制大学卒業者)
※上記に日直手当、宿直手当、時間外手当、通勤手当、住居手当、
扶養手当、抗がん剤調整にかかる特殊勤務手当等が加算されます。
※期末・勤勉手当あり

◆福利厚生

- ①各種社会保険あり
- ②院友会(病院職員で組織する互助会)
 - テニス、バレーボール等のスポーツやハイキング、ボウリング、
釣り等のレクリエーション活動
 - 職員旅行(国内・海外)
 - 観劇・コンサート等のチケット補助、院内誌発行等
 - 診療見舞金制度
- ③日赤グループ独自の福利厚生制度あり
 - 慶弔見舞金 ●日赤グループ保険(生命保険・医療保険)
 - 永年勤続記念品(旅行券)
- ④院内保育施設
- ⑤宿舎(ワンルームタイプ)
- ⑥認定・専門の資格取得への補助



お気軽にお問合せください。

Smile
みんなの力が笑顔をつくる



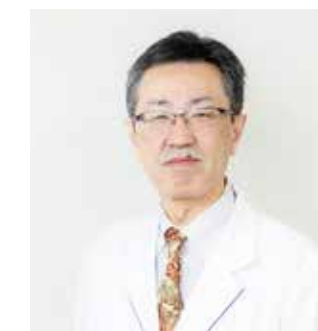
令和6年度採用 薬剤師募集案内



赤十字の名のもとに、患者さんの健康で豊かな生活を支援いたします。



薬剤部からメッセージ



薬剤部長
小川 純也
JUNYA OGAWA

福井赤十字病院では、チーム医療に積極的に取り組み、薬剤師もチームの一員として患者さんに安全・安心で効果的な薬物療法を提供するために活動しています。薬剤師となる皆さん、私たちと共に学び、信頼される薬剤師を目指しませんか。

病院の理念

人道・博愛の精神のもと、県民が求める優れた医療を行います。

薬剤部の理念

医薬品の適正使用・適正管理を通じ、患者さんの健康な生活に貢献します。

病院概要

- 病 院 名 福井赤十字病院
所 在 地 〒918-8501 福井県福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630(代)
FAX.0776-36-4133
開設年月日 大正14年4月1日
院 長 高木 治樹
許可病床数 534床
診 療 科 内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、腎臓・泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科
職 員 数 1088名(うち薬剤師32名)
令和5年1月1日現在
- ◆日本医療機能評価機構による病院機能評価認定病院
 - ◆地域医療支援病院
 - ◆地域がん診療連携拠点病院
 - ◆地域周産期母子医療センター
 - ◆地域災害拠点病院
 - ◆福井県ドクターヘリ受入病院

あなたが輝ける場所がある。



薬剤師経験1年
神戸学院大学出身
藤田 真紘
MAHIRO FUJITA

地元福井の大きな病院で薬剤師としての経験を積み自分自身も成長したかったため、当院を希望しました。当院にはキャリアラダー制度があり、先輩方がマンツーマンでひとつひとつ丁寧に指導してくださるので、着実に業務を覚える体制が整っています。頼れる優しい先輩方ばかりなので、疑問点もすぐに確認して解決し、安心して業務に取り組むことができます。現在は主に、調剤業務、注射調剤業務、製剤業務、抗がん剤やTPNの調製等を行っており、12月末からは病棟業務が始まる予定です。

まだまだ薬剤師としての知識や技術、患者対応の未熟さを痛感する日々ですが、先輩方から多くのことを学んで吸収し、1日でも早く薬剤部の戦力になりたいです。また、患者さんや他の医療スタッフから信頼される薬剤師になれるよう日々精進していきたいです。



教えて! 薬剤部 Q&A

Q 現在は何人の薬剤師が働いていますか?

A 現在は32名の薬剤師がいます。男性21名、女性11名です。入社5年目以内の若手薬剤師が12名と比較的若い人の多い職場だと思います。

Q 当直業務はいつごろから入りますか? 忙しくはないですか?

A 当直業務は一通り業務を覚えた冬から入るのが一般的です。主な業務は簡単な調剤業務(救急外来および入院)、伝票による薬剤の払い出しであり、それほど難しいものではありません。また、業務が一段落すれば仮眠を取ることができ、業務終了後は朝から帰宅できます。

Q 学会に参加することが可能ですか?

A 学会には業務に影響のない範囲で自由に参加することが可能です。また、資格の取得や継続、発表など一定の条件を満たせば病院の補助を受けて学会に参加することが可能です。

Q 休みはどのような感じで取得できますか?

A 夏季休暇と有給休暇を取得することができます。薬剤部では取得する日は希望の日を選ぶことができ、土日と合わせて取得することで長い連休にすることも可能です。

Q スポーツが好きなのですが、運動する環境はありますか?

A 当院では、野球、サッカー、バスケットボール、バレーボールなどたくさんの運動部が活動をしています。部に在籍することで他職種と交流したり、様々な情報交換をすることができます。また、日赤スポーツ大会では他の赤十字病院の運動部と試合をして日頃の成果を試すことができます。

キャリアラダー (レベルI)

1年目は指導者がマンツーマンで業務を指導・支援。薬剤師としての基礎となる知識・姿勢の研修を行います。

4月

■ 薬剤部の役割、業務全般についての講義

■ 調剤業務開始



■ 各種研修会に参加

6月

■ 注射調剤業務開始



7月
8月

■ 製剤業務、注射ミキシング業務開始



10月

■ TDM業務開始



当直業務を開始

11月~
1月

■ 病棟業務、薬剤管理指導業務開始



3月

■ 医薬品情報・治験・臨床試験業務



キャリアラダー(レベルI) の最終評価

認定

<到達目標>

薬剤師としての基本的知識・技術・姿勢を習得し、安全・確実に業務を実施できる。
自分の役割と責任を認識し、自分の能力を超えて業務を求められたときには支援や指導を仰ぎ、業務内容について相談できる。
社会人としてのマナーを身に付け、行動できる。

あなたを育む道がある。

キャリア・スキルアップの支援体制

教育方針、教育目標に基づいたキャリア・スキルアップを支援します。

<教育方針>

病院の理念、基本方針に基づき、高度で良質な医療を提供するため、薬剤師として必要な知識、技術、姿勢の習得を図る。

<教育目標>

- 1) 薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務の実施とチーム医療に参画し薬物治療に貢献する。
- 2) 医薬品の適正使用のための情報提供と処方提案を実施する。
- 3) 患者さんとメディカルスタッフから信頼される人間性豊かな医療人を育成する。
- 4) 高度医療に対応するため専門性を高め、各種資格を取得する。
- 5) 救急、災害医療に資することの出来る薬剤師を育成する。
- 6) 地域医療全般に視野を広げ、病診薬連携を推進する。

キャリアラダーによる2年目からの研修

経験年数に応じたキャリアラダー（レベルⅡ～レベルⅤ）により習得すべき知識、技術、姿勢を段階的に示し、その習得を評価、承認する仕組みで、個々の能力を高め、目標達成を支援します。

レベルⅡ
(2年目以上)

<到達目標>

基本的な薬剤業務を自主的にできる。
目標を持った自己研修ができる。
実務実習生や新卒薬剤師への業務指導ができる。



レベルⅢ
(6年目以上)

<到達目標>

知識を活用し個別性や優先度を考慮した業務を実施し、部署目標達成に貢献できる。
業務改善に積極的に取り組むことができる。
実務実習生や後輩の教育指導に関わることができる。
専門性を高め必要に応じて専門・認定の資格を取得できる。



レベルⅣ
(10年目以上)
(係長)

<到達目標>

薬剤部全体の運営にかかわり、部署目標達成に向けて業務を円滑に実施できるよう調整できる。
各課の業務課題を理解し、実践できる。



レベルⅤ
(課長)

<到達目標>

薬剤部全体の運営にかかわり、他部署との調整、支援を行う。
病院の方針に基づいて業務目標を定め、目標達成に向けて指導・指示できる。



学会・研修会

スペシャリストになるために、当院では各種学会の認定・専門薬剤師を目指し、研修会の開催など、知識を深めるための支援体制を組んでいます。

各種認定

院内において薬剤師の果たすべき役割が多岐にわたり求められています。そのためにキャリア・スキルアップが重要になります。本院では、各種学会の認定・専門薬剤師を目指しています。

日本病院薬剤師会、日本医療薬学会

- ◆がん薬物療法認定薬剤師、がん専門薬剤師
- ◆感染制御認定薬剤師、感染制御専門薬剤師
- ◆妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師、妊婦・授乳婦専門薬剤師

日本静脈経腸栄養学会

- ◆栄養サポートチーム専門療法士

日本褥瘡学会

- ◆日本褥瘡学会認定師

日本臨床救急医学会

- ◆救急認定薬剤師

日本緩和医療薬学会

- ◆緩和薬物療法認定薬剤師

日本糖尿病学会

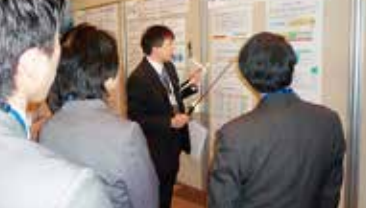
- ◆日本糖尿病療養指導士

日本化学療法学会

- ◆抗菌化学療法認定薬剤師

学会発表

業務への新しい取り組みやその評価など各自が研究テーマに取り組み、その成果を学会等で発表しています。



研修会

病院の研修会、薬剤部での研修会を計画的に行っています。



全職員を対象として行う
病院全体の研修会



週1回行う薬剤部の研修会

災害救護活動

昨今、災害時における医療体制はますます変化し充実していく中で、薬剤師の役割も大きなものになっています。その社会的ニーズに応えるべく、災害時に対応できる薬剤師を育成しています。災害が起きた際は、救護所での調剤および服薬指導など、被災された方々を全力でサポートしています。



東日本大震災（調剤業務）



東日本大震災（服薬指導）



熊本地震（市の職員と話し合う様子）



台風19号災害（長野県）（避難された方へのケア）

あなたの仲間がここにいる。

あなたの成長を優しく、時には厳しく
見守ってくれる頼れる先輩がいます。



薬剤師経験5年
上坂 歌奈
KANA UESAKA
(金沢大学卒)

患者さんに寄り添いながら 最適な薬物治療を提供。

今年で、入職して5年目になります。

1年目の頃は毎日基本的な業務を覚えることに精一杯で、気が付けば時間が過ぎていくような状態でしたが、次第に仕事のペースを掴むことができて、現在では以前より余裕を持って仕事ができていると感じます。

しかし、まだまだ経験が浅く日々の業務で分からないことや、疑問に思うことがたくさんあります。そのため今でも先輩方の助けを借りる場面が多いですが、どなたも真剣に相談に乗ってくださるのでとても心強いです。

最近では以前に比べて病棟で業務を行うことが増えて、それにより患者さんと直接お話できる機会が増えました。薬剤の用法用量が正しいかをチェックすることはもちろん大切ですが、患者さんごとに生活スタイルや治療に対する考え方が違うため、最適な治療というのは人によって異なると思います。今後はそういった面にも配慮して、より一人ひとりに最適な薬物治療を提供できるように努めていきたいです。



薬剤師経験8年
草富 翔太
SHOTA KUSATOMI
(摂南大学卒)

幅広い業務や院外活動など 多様なやりがいに出会える。

当院への入職を機に地元である関西を離れ、福井県に came. 入職当初より上司との面談や日常会話から、仕事面だけでなくプライベートについても気にかけてくれる環境であったことも手伝い、すぐに福井という地に慣れ、特に不安を感じることもありませんでした。今では8年目となり、サポートする立場になる機会や任される業務も増えました。

入職当初から関心のあったTDM業務に取り組む中で、徐々に感染分野に興味湧いてきたこともあり、今年度より感染制御の業務にも携わるようになりました。

また、昨年度より福井県病院薬剤師会の学術委員に任命され、院外活動についても積極的に取り組み、多くの場面でやりがいを感じています。

地域医療、適切な治療に貢献するため、認定・専門資格取得を目指してこれからも自己研鑽を怠らず、患者さんへ還元できるよう努めていきたいです。

～チームワーク～ 薬剤師間の連携・協力体制を整えています。



薬剤師経験17年
谷澤 範彦
NORIHICO TANIZAWA
(金沢大学卒)

業務がより円滑に行えるよう 育成や働きやすい環境作りを。

当院に就職してから日々の業務を行う中で、がん患者に関わる仕事に携わりたいと思い当時の所属長に他施設での研修の希望を出し、がん薬物療法認定薬剤師の資格を取得しました。資格取得後は主にレジメン管理や抗癌剤による副作用対策の構築、服薬指導を行ってきました。近年の抗がん剤治療は一度に使用する抗がん剤の種類が増え、副作用対策が複雑な抗がん剤も次々と開発されており、レジメン管理を通して患者に適切な化学療法を安全に届けるという業務はとても大切だと感じています。また、抗がん剤を初めて受ける患者さんは様々な不安を抱えており、治療内容の説明や副作用対策の提案を通して、その不安を少しでも和らげることが出来たらという思いで普段の業務を行っています。

現在は係長として薬剤部全体が円滑に業務を行えるよう調整し、若手の育成にも力を入れています。今後は薬剤師全員が働きやすい部署になるように、微力ながら尽力していきたいです。



薬剤師経験24年
米倉 知恵子
CHIEKO YONEKURA
(帝京大学卒)

頼れる仲間の存在と ママにも安心の職場環境。

大学卒業後、当院に就職し、結婚、出産を経て、現在に至ります。仕事と家事、子育ての両立は大変ですが、家族の協力はもちろん、上司、先輩、後輩の皆さんに助けられてがんばっています。産後職場復帰したときには、子供を院内の保育所に預けていました。院内にママ友もでき、仕事上で助けられたこともあります。子供の体調が悪いときでも病児保育もあるため、安心して働くことができました。仕事を理解してもらえる保育士さん達に育児相談にのってもらうこともできてよかったです。

現在は調剤業務、病棟業務、抗がん剤調製、服薬指導業務の他、糖尿病療養指導士として院内の糖尿病サポートチームに所属し、患者さん向けの糖尿病教室や講演会に携わっています。これからも自分の経験を活かして、仕事やプライベートのことまで、後輩の皆さんをしっかりとサポートしていけたらと思います。

信頼し合うパートナーがいる。



～チーム医療～

各チームに担当薬剤師を配置しています。
担当者は高い目標と向上心を持ってチーム医療に取り組んでいます。

がん化学療法チーム

Cancer Chemotherapy Team



化学療法部会ミーティング

栄養サポートチーム

Nutrition Support Team



NSTチームミーティング

感染防止対策チーム

Infection Control Team



ICTラウンド

医療安全推進チーム

Medical Safe Promotion Team



医療安全推進チームミーティング

緩和ケアチーム

Palliative Care Team



緩和ケアチームミーティング

摂食嚥下支援チーム

Eating and Swallowing Support Team



摂食嚥下支援チームミーティング

糖尿病教室

Diabetic Classroom



糖尿病教室

褥瘡チーム

Pressure Ulcer Team



褥瘡ラウンド



抗がん剤治療を安全に行えるようにサポートしています。



栄養摂取の方法などを提案し、患者さんの栄養状態についてサポートしています。



抗生物質などの適正かつ有効な使用方法についてサポートしています。



インシデント・アクシデント事例の収集・分析・対策立案等を行い、安全な医療の提供に努めています。



患者さんの疼痛緩和のための薬物療法についてサポートしています。



患者さんの摂食嚥下に対する薬物療法についてサポートしています。



糖尿病の患者さんや御家族に対して、薬物療法について講義します。



褥瘡治療の促進と新たな褥瘡の発生を防ぐためにサポートしています。